

平成30年度 バドミントン部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- ・生徒主体となって計画的に練習に取り組み、活動を通じて豊かな人間性を培うよう指導する。

3 指導方針

- (1) 限られた練習時間に集中して活動できるように指導する。
- (2) 生徒が自主的にメニューを考え、部員相互が協力して活動できるように指導する。
- (3) 怪我なく安全な活動を心掛け、施設はきれいに大事に使う。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

顧問間で体罰・暴言のない指導をおこなう旨、徹底する。

(2) 生徒間の暴力禁止

上級生から下級生へ、同級生同士で暴力禁止を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

なし

5 実績

平成30年度 台東区ジュニアバドミントン大会 男子シングル 3位入賞

平成30年度 男子バスケットボール部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・年5回行われる大会での勝利を目指して、日々の練習に取り組む

3 指導方針

- (1) 練習は、火、木の放課後に行うことを原則とするが、練習試合や公式戦の日程により、休日にも活動を行う場合がある
- (2) 言葉遣い、態度、挨拶などの礼儀をしっかりわきまえる。
- (3) 協調性や責任感を身につけ、自らの役割を考えさせる

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
 - ・体罰や暴言のない指導について、顧問間で共通理解を図る。
 - ・指導方法を随時、確認、見直しを行い、体罰や暴力的指導のない部活動を展開していく
- (2) 生徒間の暴力禁止
 - ・特に上級生から下級生への暴力的指導のないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
 - ・外部指導員は活用しない

5 実績

平成30年4月 関東大会 東京都予選会 出場
平成30年5月 全国高等学校総合体育大会 東京都予選会 出場

平成30年度 女子バスケットボール部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・年5回行われる大会での勝利を目指して、日々の練習に取り組む

3 指導方針

- (1) 練習は、月、水、金の放課後に行うことを原則とするが、練習試合や公式戦の日程により、休日にも活動を行う場合がある
- (2) 言葉遣い、態度、挨拶などの礼儀をしっかりとわきまえる。
- (3) 協調性や責任感を身につけ、自らの役割を考えさせる

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
 - ・体罰や暴言のない指導について、顧問間で共通理解を図る。
 - ・指導方法を随時、確認、見直しを行い、体罰や暴力的指導のない部活動を展開していく
- (2) 生徒間の暴力禁止
 - ・特に上級生から下級生への暴力的指導のないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
 - ・外部指導員は活用しない

5 実績

平成30年8月 夏季大会 Hブロック 3位

平成30年度 男子バレーボール部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- ・部活動通じて公平、公正、協力の精神を養い、社会で活躍できる人間を育成できるように指導して行く。
- ・年間5回行われるそれぞれの都大会で、予選リーグ一日目を勝ち抜き、予選リーグ二日目に進出する。

3 指導方針

- (1) 練習は、原則週に2日間とし、限られた練習時間に集中して活動できるように指導する。
- (2) 生徒が自主的にメニューを考え、部員相互が協力して活動できるように指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
体罰・暴言のない指導を徹底し顧問間でも問題意識を共有する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
暴力により問題解決を図ることのないよう、部員に日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
外部指導員による指導においても、体罰・暴言のない指導徹底する。

5 実績

2018年4月 関東大会 東京都予選会 出場

2018年6月 全国高等学校総合体育大会 東京都予選会 出場

平成30年度 女子バレーボール部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・基本練習を中心に、練習試合を通してチームプレーを身につける。
- ・毎回の大会に出場し、1つでも上位の結果を目指す。

3 指導方針

- (1) 週3回の練習（約3時間）に集中して取り組ませる。
- (2) チームの中での自分の役割を理解して行動できるようにする。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
体罰・暴言は行わない、行わせない。
- (2) 生徒間の暴力禁止
暴力による問題解決はないことを理解させる。
- (3) 外部指導員の活用
外部の指導は依頼しない。

5 実績

平成26年度

新人リーグ大会4位・新人二部大会出場

平成27年度

春季リーグ大会4位・春季二部大会出場

江戸川区近隣大会Ⅲ部優勝

新人リーグ大会3位・新人二部大会出場

公立高校3支部Ⅱ部大会優勝、

平成28年度

春季リーグ大会3位・春季二部大会出場

平成30年度

春季リーグ大会4位・春季二部大会出場

平成30年度 男子テニス部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・テニスの技術の向上を図る。
- ・テニスを通じての精神的な成長と部員同士の交流を図る。

3 指導方針

- (1) 真剣に練習に取り組ませる。
- (2) 規律のある行動を取らせる。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
常に冷静に指導に当たる。
- (2) 生徒間の暴力禁止
常にお互いを尊重するように指導する。
- (3) 外部指導員の活用
なし

5 実績

特になし

平成30年度 女子テニス部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・テニスの技術の向上を図る。
- ・テニスを通じての精神的な成長と部員同士の交流を図る。

3 指導方針

- (1) 真剣に練習に取り組ませる。
- (2) 規律のある行動を取らせる。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
常に冷静に指導に当たる。
- (2) 生徒間の暴力禁止
常にお互いを尊重するように指導する。
- (3) 外部指導員の活用
予定なし。

5 実績

平成29年度 台東区ジュニアテニス大会 シングルスB 準優勝・第3位

平成30年度 陸上競技部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

(1) 部活動の活性化を目指す。

① 基礎・基本の習得に重点を置き、練習計画を立てる。

② 様々な種目に、興味関心を持って取り組めるよう工夫する。

③ 目的意識と自ら進んで取り組む行動力や、継続する大切さを日々の練習の中で養う。

(2) 都大会出場を目指して日々の練習に取り組む。

(3) 校外の競技場を利用し、走力と技術力の強化を図る。

(4) 夏季合宿を通じて競技力・技術力・精神力の向上を図るとともに、集団行動を通して社会性を養う。

3 指導方針

(1) 練習は原則週3～4日とし、練習時間は平日1時間半～2時間半、休日は3時間～4時間を基本とし集中して取り組む。

(2) 不十分な施設の中、計画的な練習計画を立て、効率よく練習を行う。

(3) 休日はなるべく専用の陸上競技場を利用し、走力と技術力の向上を目指す。

(4) 基本的な生活習慣や規範意識の健全育成を目指し、挨拶の励行、授業に集中する態度等、自ら進んで行動し、他の生徒の模範となるようにする。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、担当顧問、生徒で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

活用しない。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 実績

平成30年度 フットサル部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- ・生徒が部活動に主体的に取り組み、活動を通じバランスの取れた人間性を育成できるように指導して行く。
- ・5月、8月、1月に行われるそれぞれの都大会で、予選リーグを勝ち抜き、決勝リーグに進出することを目標とする。

3 指導方針

- (1) 練習は、原則週に2日間とし、限られた練習時間に集中して活動できるように指導する。
- (2) 生徒が自主的にメニューを考え、部員相互が協力して活動できるように指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問間で体罰・暴言のない指導をおこなう旨、徹底する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
部員に対し、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
外部指導員による指導においても、体罰・暴言のない指導をおこなう旨、徹底する。

5 実績

2015年5月

第2回全日本ユース(U-18)フットサル大会 東京都大会

1次ラウンド 2勝1敗で2次ラウンド進出

2次ラウンド 忍岡高校 — 関東一校(2-4 負) 結果 東京都ベスト8

2016年5月

第3回全日本ユース(U-18)フットサル大会 東京都大会

得失点差でグループ2位 2次ラウンド進出

2次ラウンド 忍岡高校 — フウガドールすみだファルコンズ(0-2 負)

結果 東京都ベスト16

2016年8月

第16回東京都フットサルチャレンジU-18

1次ラウンド 2勝1分でリーグ2位

2位リーグトーナメント 対 中野ソレイユ(0-2 負)

2017年 8月

第16回東京都ユースフットサルフェスティバル

1次ラウンド 1勝2敗

2017年 4月

第4回全日本ユースフットサル大会東京都大会

1勝1敗1分 リーグ2位

2位リーグトーナメント 対 自由が丘B 0-0(PK2-3 負)

平成30年度 ダンス部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- (1) 学校生活を第一にし、基本的な生活習慣、授業への参加態度の向上および学力の向上を常に意識させ文武両道を目指す。
- (2) 大会への参加にとどまらずより上を目指して練習に取り組ませる。
- (3) 校内においても奉仕の心がけを意識させていく。

3 指導方針

- (1) 活動日数と活動時間
練習は原則、週4日。時間は2時間半程度を基本とする。時間を見て動けるように意識を持たせる。
- (2) 大会への参加
年に4回大会に参加。他校の作品を見たり、講師からの講評をもらうことでさらに意識向上につながりスキルアップにもつながる。
- (3) 基本的な生活習慣
挨拶の励行、正しい言葉づかい、向上心をもって行動をさせる。
- (4) 学習について
授業第一の意識を強く持たせる。提出物の不備などないように徹底する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
部員とは常にミーティングをし、相互理解に努めていく。
- (2) 生徒間の暴力禁止
上下関係はもちろん同級生同士でもいじめにつながるようなことがないように、問題があればその都度話し合いをしていく。

5 実績

ダンスリーグ2018に参加(NPO ジャズダンスインストラクター協会主催)
東京都舞踊研究発表大会参加(東京都高等学校保健体育研究会舞踊研究委員会主催)

平成30年度 剣道部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・ 剣の理法の修練を通して豊かな人間性を培う。

3 指導方針

- (1) 練習は、原則週に4日間とし、限られた練習時間に集中して活動できるように指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導

顧問間で体罰・暴言のない指導をおこなう旨、徹底する。

- (2) 生徒間の暴力禁止

部員に対し、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

5 実績

特になし

平成30年度 卓球部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・初心者でもラリーができるようになる。

3 指導方針

- (1) 安全に楽しく練習させる。
- (2) 道具などきちんと管理させる。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

体罰・暴言のない指導を行うことを顧問のあいだで再確認し、共通理解を持つ。

(2) 生徒間の暴力禁止

部員に対し、生徒間で暴力・暴言により、問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

なし

5 実績

対外試合は実施していないので、特になし。